

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・周辺で公共工事が行われることなどで、来客数が伸びている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・免税売上不振、消費税増税後の不振、暖冬、競合他社のオープン影響等、マイナストレンドが重なり、厳しい商況が続いている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前と同様に、客室稼働率が前年同月実績を下回っている。例年であれば客室稼働率が上がる年末であるが、今年の状況は前年と比べ良くない。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・前年と売上高は変わらないが、活気はない。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・建設施工会社の繁忙感が強いのか、設計事務所から特命での見積案件の相談が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・ここ数日は冬とは思えないほど暖かい日が続いており、商店街では衣料品関係やその他物販関係の売上が落ち込んでいる、という話をよく聞く。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・新規参入の同業他社が近隣に出店し、主要道路で当店より手前に立地することで来店客の遮断につながっている。また、県内全体でも微減となっており回復するには時間が掛かると予測している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・通常12月は繁忙期でかなりの入客が取れるが、今年は例年より約20%減少している。特に平日の地元客が少なく、大口の宴会予約が激減し、2～3名の少人数での来店が多い。中型店や大型店が苦戦しており、小さな専門店がセンベロ等により単価を安く、滞在時間を短くという流れになってきているように見受けられる。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響で消費マインドは冷え込んでおり、やや悪くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売についての法改正があった10月から販売の減少が続いており、12月期も前年比70%となっている。特に他キャリアからの乗換えが減っており、強化はしているが回復には至っていない。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比30%減と大きく下振れ、同様に前年同月比では29%減と、来場組数が減少している。
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊客の人数が前年に比べて減っている。あわせて、客単価も落ちている。他のホテルと情報交換しても同じ回答である。宿泊施設が供給過剰になっている。クルーズ船の寄港数が増えても我々の売上には関係ない。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-	-
		-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・耐久財等の軽減税率対象外の大口需要は消費税増税前の駆け込みを終え一服感、それ以降の消費を喚起する材料が乏しく全体的に節約ムードが感じられる。軽減税率対象品目である食料品まで活況感がなく、横ばい模様である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間向け出荷はそれぞれ前年比減、全体でも減である。民間建設工事物件の減少が要因である。
	x	建設業（経営者）	それ以外	・住宅建築の相談は具体的には進まない。だが、沖縄への投資関連の建築相談は増えてきている。
雇用 関連  (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求職者の登録や問合せが減少している。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・12月の週平均求人数が710件、前年比では89%と減少している。
	x	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が若干ではあるが減少しつつある。
	x	-	-	-